
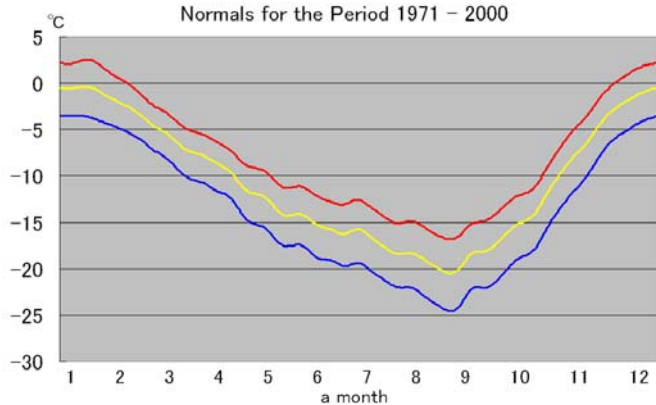


【タイトル】	地上気象観測
【サブタイトル】	地上気象観測データ
【観測期間】	1957年～現在
【観測風景】	
【データ概要】	<p>昭和基地(SYO)の地上気象観測は、1957年から開始されている。観測データは世界気象機関(WMO)へ報告する。また、帰国後はデータレポートを編集する。昭和基地は基準観測所となっている。</p>
【データ名】	地上気象観測データ
【観測点】	昭和基地
【データ形態】	デジタルデータ
【データ期間】	1957年～現在
【データ取得サンプリング】	毎日
【観測機器】	気圧計、温度計、湿度計、風向風速計、日照計、日射計
【データ公開】	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html">http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html</a>
【データサンプル】	<p>(図タイトル) 気温の平年値(赤:最高気温 黄:平均気温 青:最低気温)</p> 
【データ管理者(問合せ先)】	気象庁
【e-mail】	<a href="mailto:antarctic@met.kishou.go.jp">antarctic@met.kishou.go.jp</a>
【関連機関】	世界気象機関(World Meteorological Organization:WMO)
【主な研究成果】	守田康太郎(1968):昭和基地で観測されるKatabatic風について(I),南極資料,31,21